学校番号	123

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	改訂　新編　生物基礎　（東京書籍）						
副教材等	ニューサポート　改訂　新編　生物基礎　（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物という科目は、決して暗記科目ではありません。もちろん、覚えなければどうしようもないことがらもありますが、一番大切なのは、それぞれのテーマにおいて大筋を理解することです。授業ではそれを中心において臨んでください。また、実物に接することも大切です。時間の許す範囲で、教室に「モノ」を持って行きますので、嫌がらずに見てくれたらうれしいです。
この授業が自分を生物の一員としてとらえ直すきっかけになればいいと思っています。

2　学習の到達目標

生物はその多様性にもかかわらず、すべて外界との間で物質およびエネルギーのやりとり（代謝）を行い、内外の刺激に対して自分の身を守る方向で反応し（恒常性）、自己増殖により命をつなぐという点で共通していることを理解する。一方、その多様性はそれぞれの生物が暮らす環境と生き残りのための戦術の違いに基づくものであることに気付き、身近な生き物がそれぞれどのような生き方をしているか、普段の生活の中で関心をもってみる態度を養う。また、生物集団と環境は互いに作用しあっており、一方の変化は他方に重大な影響を及ぼすこと、特に人間の活動が環境や生物の生活に極めて深刻な影響を及ぼす可能性を知り、自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献できる力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を意識するなど、科学的な見方や考え方を身につけている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生命現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身につけている。	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表および自己評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	生物の特徴と遺伝子	生物にみられる多様性と共通性	○				a:生物の多様性と共通性について関心を持っている。 b:遺伝子の本体がＤＮＡであることを示した実験について考察し、説明することができる。 c:細胞の観察を通して、顕微鏡の正しい扱い方を身につけている。 d:代謝とエネルギー、遺伝子による形質発現の大筋について理解している。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		細胞とエネルギー				○		
		遺伝子とＤＮＡ		○				
		遺伝子の働き				○		
		細胞の構造とはたらきに関する探究活動			○			
2学期	体内環境と恒常性	生物の体内環境	○				a:環境には細胞にとっての環境が存在することに関心を持っている。 b:生体防御が多段階の仕組みを持つことを考察し、その意味を説明できる。 c:塩濃度の違いによる細胞への水の出入りを観察し、その結果を適切に記録している。 d:各組織や器官と恒常性の関わりについて理解し、知識を身につけている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		体内環境を維持するしくみ				○		
		生体防御		○				
		体内環境維持に関する探究活動			○			
3学期	植生の多様性と生態系	植生と遷移				○	a:気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心を持っている。 b:生態ピラミッドについて、物質およびエネルギー循環の観点から説明することができる。 c:土壌生物の観察について、その基本操作を身につけ、適切に記録している。 d:陸上のさまざまな植生について、その成立の条件と遷移の過程を正しく理解している。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		気候とバイオーム	○					
		生態系と物質循環		○				
		生態系のバランスと保全	○					
		生物の多様性と生態系に関する探究活動			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。